

# Weekly Report

2023-24年度  
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19  
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760\_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：千秋 季頼

幹事：本多 誠之

クラブ広報委員：萩原 孝則

例会日：毎週木曜日PM12:30~

会場：ヒルトン名古屋

2023-24年度  
名古屋瑞穂ロータリークラブ  
会長のテーマ

「より楽しく、誇りある瑞穂ロータリークラブ」  
～明るい未来に向けて、希望を生み出そう～

## 第2092回例会

～青少年奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年5月30日(木) 晴 第38回例会

司会：新見光治 青少年奉仕委員長  
斉唱：「ローターアクトの歌」「インターアクトの歌」  
ゲスト：愛知県立瑞陵高等学校 IAC：教頭 金子章生 先生 以下7名  
名古屋熱田 RAC：会長 片山 穂南さん 以下6名  
米山奨学生：Darlan Ashlee Gore さん

### 会長挨拶

千秋季頼会長



皆さん、こんばんは。今日は、熱田ローターアクトクラブと瑞陵高校インターアクトクラブの皆さんをご招待しての例会です。皆さん、ようこそお越しくださいました。後ほど、両クラブの皆さんから活動報告をしていただきます。私も、とても楽しみにしております。

今年度は、このように夜の例会として、制限なく開催できていますが、昨年度までの4年間は、コロナの影響で、皆さんの日頃の活動や学業、そしてローターアクト・インターアクトの活動にも、大きな影響があったと思います。伸び伸びと楽しめる若い時期に、行動制限があったことは、大変厳しかったことなのでしょう。とはいえ、これから皆さんは、これから先のほうが、長い人生です。心身ともに豊かな人生を送っていただくことを、心から願っています。

さて、昨年の6月だったと思いますが、瑞穂ロータリーの会長になる直前に、ローターアクトの例会に出席させていただきました。その際に、おそらく本年度のローターアクトの会長をなさっている片山さんだったかな？と記憶していますが、鹿児島島の知覧に行ってきましたということをお話くださり、大変うれしく思いました。私の職業は、ロータリアンの皆さんはよくご存じですが、熱田神宮の宮司です。私たち神職は、日本各地、そして日本の旧統治下にも戦没者供養に向向くことがあります。なかでも知覧は私にとって、忘れられない場所です。

知覧は、太平洋戦争の際に、特攻隊の基地のひとつとして運用され、皆さんと同じような年頃の、多くの若者が、日本を守るために飛び立っていった場所です。現在は、資料館も整備されており、なくなった若者たちの手記や、当時のしるふ場所も数多く残されています。まだ、知覧を訪れたことがないという方がいらっしゃるなら、ぜひご見学されることをおすすめします。

戦争は、あってはならないことだと思いますが、これから人生を謳歌しようという若者たちが祖国を守るという一念で命をかけたという事実、心を打たれない人はいないのではないかと思います。皆さんのこれから先、長い人生には、いいことももちろんありますが、時にはつらいことや、苦しいこともあるでしょう。そんな時には、知覧にいた若者たちに思いを馳せて、困難を乗り越える気持ちは持ってほしいと思います。それでも厳しいと思うことがあれば、神社が、皆さんのお役にたてるかもしれません。参拝の基本は心です。静謐な空間で、心を穏やかにして参拝する。落ち着かない心を整えようと思った時、神社で参拝することも選択肢に入れてみてはいかがでしょうか？

将来、皆さんが、厳しい場面に遭遇したとき、そういえばあの時、瑞穂ロータリーの会長さんが言っていたことがあったなあと思いついてくれたら、幸いです。

### 出席報告

小栗栄治 出席委員

会員69名 出席36名 (出席計算人数56名)

出席率 62.07%

### ニコボックス

小栗栄治 ニコボックス委員

・4月より準備しておりました会社移転が無事に終わりました。  
先輩の皆様からお祝いと激励のお言葉いただきありがとうございました。  
渡邊 将之さん

- ・熱田RACの皆さん、瑞陵高校IACの皆さん、今日はようこそ!! 心から歓迎致します。 野崎 洋二さん
- ・先日は妻の誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。また榎田さんお世話になりました。 湯澤 勇生さん
- ・シンガポール出張に合わせてガバナーナイトと世界大会(の入口)に行ってきました。街のあちこちにロータリアンが大勢いてとても驚きました。 本多 誠之さん
- ・RAC、IACの皆さん本日の例会をお楽しみください。外出先で歌い過ぎて喉が痛いです。 田中 宏さん
- ・先週は色々ありまして、皆様にご心配おかけしました。まだ全快ではありませんが無理せず過ごしたいと思います。 村上 学さん
- ・新規事業が順調に進んでいます。ご協力いただいています。内田さん、堀さんありがとうございます。 杉山 裕一さん
- ・RAC、IACの皆様ようこそ!今日はゆっくりお楽しみください。次年度青少年担当させていただきます。 鈴木 実さん
- ・RAC、IACの皆様ようこそ!楽しんでいってください。新見 光治さん 横山 請悟さん 今川 知也さん 岡部 光邦さん 松田 浩孝さん 梅村 昌孝さん 安井 友康さん 長谷川 隆さん

### 名古屋熱田RAC会長挨拶

片山穂南会長

皆様こんばんは。名古屋熱田RAC会長の片山と申します。今日は合同例会の開催、誠にありがとうございます。今年度も千秋会長をはじめ瑞穂ロータリークラブの皆様、そして瑞陵高校IACの皆様には、我々の活動への多大なるご理解、そしてご支援いただいております。

本日は活動報告のお時間をいただいております。今年度当クラブは、40周年を迎えて、より一層活動に力を入れてまいりました。我々が力を入れて行ってきた今年度の活動についてのご報告と、次年度の会長も出席しておりますので、挨拶と活動紹介をさせていただければと思っております。改めまして、本日はどうぞよろしくお願いいたします。



### 瑞陵高等学校IAC挨拶

金子章生教頭先生

皆様こんばんは。教頭の金子です。今日は生徒共々お招きいただき誠にありがとうございます。私の担当は英語ですが、海外からお客様がお見えの際に「学生と話がしたい」と言われることが多々あります。困ると大体インターアクトの子達に声をかけさせていただきます。

そういう場を提供すると、本場に積極的に動いて質問も自分達で考えて、意見も言えるという状況が見られます。これもロータリークラブの皆様のお陰と感じております。引き続き生徒のサポートを今後ともよろしくお願いいたします。



### 森重統先生

今年の一年生は3名しか入会してもらえず、少々寂しいですが追加の入会を促していきます。教頭から話をいただきましたが、本当にロータリークラブの皆さんのお陰で生徒が育つ機会をいただいております。今後ともご支援とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 幹事報告

本多誠之幹事

- ・6/6(木) 12:30~ 通常例会 ヒルトン 4F「竹園の間」  
13:40~ 第12回理事会 ヒルトン 4F「桜の間」
- ・6/13(木) 12:30~ 第5回クラブフォーラム ヒルトン4F「桜の間」  
(次年度行事予定と委員会報告)



## 懇親会

## 乾杯挨拶：梅村昌孝直前会長

皆さんこんばんは。熱田RACの皆様、瑞穂IACの皆様本日はようこそお越しくださいました。瑞穂RCのメンバーの皆様、若い方々と存分に親睦を深めてください。またRAC、IACの皆様はおじさま達がテーブルにあります。これから皆さんが経験するであろうことはこの方達は全て経験済みかと思しますので遠慮なくなんでも聞いてください。それでは、今日ご出席の皆様のご益々の繁栄と、三クラブの発展を祈念いたしまして乾杯いたします。乾杯！！

## RAC活動報告：片山穂南会長

名古屋RAC会長の片山と申します。本日は、活動報告の場を設けていただきありがとうございます。まずは私の方から今年度の活動の報告と会長エレクトの北井より、次年度の活動について紹介をさせていただければと思います。まずは今年度の活動報告をさせていただきます。現在、名古屋熱田ローターアクトクラブは会員数50名、男性会員が35名、女性会員が15名で活動しております。今年度のテーマは『みんなで作る』というテーマで活動させていただいております。クラブ40周年を迎えた今年度、5年後、10年後の未来に繋げるために提唱ロータークラブの皆様や、他クラブやOB、OG、他団体の皆様とも協力し、より良いクラブを、地域社会をみんなで創っていきたくという思いを込めて、こちらのテーマで活動させていただいております。



我々、普段の活動でどんなことを行っているのかですが、普段は例会を実施しております。4つの委員会がございまして、クラブ奉仕委員会、専門知識開発財務委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が例会の企画運営を担当しております。1つ目が9月第2例会岡崎ローターアクトクラブ、名古屋芸術大学ローターアクトクラブとの合同例会です。こちらでは3クラブ合同でコンセンサスゲームとハーバリウム作りを実施いたしました。交流を深めることができました。2つ目が11月第1例会。「そろそろちゃんとメンタルヘルスと向き合おう」という例会です。今年、国際ローターもメンタルヘルスに力を入れております。我々もクラブとして、個人として、メンタルヘルスと向き合う機会を設けたいということで、このような展開をさせていただきました。3つ目が、盲導犬街頭募金です。毎年、私たち恒例で行っている例会でして、名古屋駅前行われていて、そちらに我々も参加させていただきました。4つ目が、「外国人労働者への支援を考えよう」という例会です。我々のクラブにも、外国出身のクラブのメンバーが増えてきております。日本のこれまでもこれから文化共生のあり方について、講師の方をお招きして卓話の例会を実施いたしました。

続きまして、こちら新設いたしました広報委員会、こちらは例会を担当しておりますが、広報活動をメインに行っております。従来から我々SNSやホームページの情報発信を強化してきましたが、とりわけ今年度におきましては、Instagramの更新回数が増加いたしました。これにより、クラブの活動の認知向上に貢献し、新入会員の獲得であったりとか、あとは外国のクラブからの問い合わせというものがかなり急増しております。

そして、我々、今年40周年ということで大規模事業を複数行ってまいりました。1つ目がウォークインブルーです。10月21日小幡緑地公園にて行いました。青いシャツを着て公園を歩くイベントですが、登録料の7割を地元のNPO法人様へ寄付をさせていただき、残りの3割は次年度の開催費用に充てるという持続可能なイベントになっております。当日は約90名の方にご参加いただきました。今年度は、NPO法人愛知子どもホスピスプロジェクト様へ21万6300円の寄付をすることができました。2つ目が複数地区クラブ合同研修会です。ホストクラブ15クラブで合同研修会を運営し、副実行委員長は当クラブ柿本が務めました。当日は27地区34クラブ、RAC137名、RC26名の方が参加いただき、卓話、パネルディスカッション、グループディスカッション、合同例会の企画を実施しました。3つ目は名古屋熱田RAC40周年記念式典を3月16日に行いました。直近5年の活動報告、記念事業報告を実施させていただきました。

最後に、今年度皆様のご協力がありまして、たくさんの事業、そして通常の例会を行うことができました。誠にありがとうございます。以上で活動報告とさせていただきます。

## RAC次年度会長：北井未尋さん

皆さん、こんばんは。次年度会長を務めさせていただきます。北井と申します。よろしくお願いたします。本日はお招きいただきありがとうございます。入会したのが去年の1月になりますので、1年半ほどの会歴です。仕事はエレベーターの会社に勤めてまして、営業の仕事をしています。そして1年5か月前にインターネットで見つけたローターアクトに入会して今に至ります。私の思いとしては、クラブメンバーひとりひとりの背中を押したい。そしてこの年度が終わるとき、「色々あったけど楽しかったね」とみんなでお話し合えたら最高です。

今後も瑞穂ロータークラブの皆様、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

## IAC活動報告

松浦優依香さん(一年生)：私が最初にIACを知ったのはホームページでした。聞いたことのない部活だったので、気になって調べてみたところ、ボランティア活動を行う部活だということが分かりました。学校説明会でインターアクトクラブの活動報告を聞いて、面白そうだなと思い、もっとボランティア活動に参加してみたかったこともあって入部しました。最初は楽しそうだったので入部した部活でしたが、実際に活動してみると楽しいだけじゃないってことが分かりました。また、自分から今何をすればいいのかを考えて行動する自主性の重要性を改めて気づかされました。このようにインターアクトクラブでは、普段の学校生活では体験できない貴重な体験をすることができます。私はこの貴重な体験を通して、人として成長していけたらなと思っています。



加久友優さん(一年生)：私がIACに入ったきっかけは能登半島地震です。元日に家族みんなでワイワイ食っている家庭が多かったと思うんですけど、もし私だったらって想像したらすごい胸が痛くなりました。私は少しでも何か役に立てたらと思い、能登半島地震に関連するマルシェに参加しました。その時、主催者の方が被災地の方は辛い思いをしているけど、私達は同じ辛い思いをしながら支援するんじゃないかって、何か楽しいことをしながら、それが支援に繋がったらいいんじゃないかと言っていました。私はその言葉を聞いて、すごい素敵だと思って、楽しみたい、何か誰かの役に立てるんじゃないかなと思い入部しました。これからみんなで協力しながら、いろんな事に積極的に参加したいと思っています。

後藤愛佳さん(一年生)：私がIACに入部した理由は2つあります。1つ目は、私の叔父は身体障害者で、障がい者手帳を持っています。叔父は寝たきりで歩くことができず、言葉を話すこともできません。そんな叔父を介護している祖母、母、看護師さん、理学療法士さんなどを小さい頃から間近で見ました。そこで、IACで福祉に携われると知って、入ってみたいと思いました。2つ目は、普段できない体験ができるからです。先日、子ども食堂に行ってきました。料理やコミュニケーションなど、自分自身を成長させるものばかりでした。他にも色々なイベントがあると思います。それらに積極的に参加してボランティア活動をしていきたいです。その中で、自分自身の未熟な部分をより成長させていけるよう頑張っていきたいです。

坪井花琳さん(三年生)：私は約2年間、IACを通して自分から学ぶ姿勢の大切さや努力を続けることの難しさ、人と関わることの楽しさを学びました。今年、IACを引退してすぐ感じたことが一つあります。それはIACのおかげで、本来知り合うことなかった人達と出会うことができたということです。部活の最後の活動としてライラセミナーに参加させていただきました。年齢は違うけれど、一人一人信念を持っていて、目指すべきところを目標を高く持って、本当に夢を語り合うことがすごく楽しかったです。本当にいい経験になりました。約2年間、IACでこのような貴重な経験をさせていただいて、本当に感謝でいっぱいです。

金澤祐奈さん(三年生)：まずロータリアンの皆様、IACの活動を支えていただきありがとうございます。皆様のご支援ご協力のおかげで、このIACでの2年は挑戦と貴重な体験で溢れたものとなりました。そもそも私は人見知りをなくすこと、新しいことに挑戦することを目標にこの部活に入部しました。そのため、ワークショップや献血活動、海外派遣研修でオーストラリアでのホームステイ、ライラセミナーなど多くのことに挑戦し参加し、少しずつ人見知りを克服することができました。その中で感じたのは、一人ではないということです。何をやるにしても、学校であれば部員が海外派遣研修やライラセミナーのように、初めての方が多く環境では、同じグループの方、そして先生方がいつも助けてくれます。このように失敗しても周り協力して修正していける環境だからこそ、多くのことに挑戦できたのではないかと思います。また、昨年の記念祭ではレモネードを販売することによって、そこで得た収益を全額小児がん治療研究への助成、患者さんへのウィッグのプレゼントを行い、寄付させていただきました。寄付という間接的な形ではありながらも、自分たちの活動でがんで苦しんでいる誰かを少しでも救うことができたことと実感し、嬉しかったです。そして今、私は病気を早期発見し、少しでも苦しみを和らげ、希望を持って生きる子供たちを増やすべく、臨床検査技師や薬剤師を目指し勉強に励んでいます。夢への道は決して簡単なものではありませんが、この2年間で学んだ多くのことと諦めずに挑戦するという気持ちを大切に頑張っていきたいです。

黒川佳子先生：今日はこの場に参加させていただいて、また新たなことで驚いております。この年になって学びがどんどん増えていくということで、私、嬉しいのですけれども、ものすごく大丈夫かなという不安もありますが、生徒と力を合わせて、生徒の影になりながら、これからやっていきたいと思っておりますので、どうぞご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

## 例会のご案内

## ■今 週 6月6日(木)

卓 話：(株)鈴木紙器 代表取締役 鈴木 洋樹  
時 間：12:30～  
場 所：ヒルトン名古屋4F「竹園の間」

## ■次 週 6月13日(木) 第5回CF(次年度行事予定と委員会報告)

時 間：12:30～  
場 所：ヒルトン名古屋4F「桜の間」

## ■次々週 6月20日(木)

卓 話：田中良知さん インニシエーションスピーチ  
時 間：12:30～  
場 所：ヒルトン名古屋4F「桜の間」